

令和2年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：野外栽培菌床きのこ普及推進事業

事業実施期間：令和2年度

担当課室名：水産林政部林業振興課

担当班名：地域林業振興班

TEL: 022-211-2914

e-mail: rinsint@pref.miyagi.lg.jp

URL: <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk/>

1 事業の目的

木くずや穀類の精製過程のできる廃棄物等に栄養を添加した「菌床」を使った宮城県のきのこ生産を拡大することにより、一次産業由来の廃棄物のリサイクルを推進するとともに、低コスト栽培手法の検証と放射性物質等安全性の確認、宮城県産きのこの更なる認知度向上に向けた新品種開発を通して、震災以降低迷した県内きのこ生産の復興に貢献する。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

令和2年度は、県登録のハタケシメジ品種による、より効率的な菌床栽培技術を確立するため、「簡易施設栽培方法」に関する現地実証試験を実施した。

また、県登録ハタケシメジ品種の供給に係る原種菌調製、性能維持確認、劣化対策試験を行った。

併せて、更なる宮城県産ハタケシメジの生産拡大を図るため、菌床を用いた新たな野外栽培用品種の開発に関する試験を行った。

3 当該年度の実施事業の成果

「簡易施設栽培方法」の現地実証試験においては、県内5調査地からデータを収集することで、従来の栽培方法を改良した現地への技術移転が可能な栽培手法を開発した。

また、登録品種の劣化対策により、性能維持が確認された原種菌を種菌メーカーに供給することで、栽培現場におけるハタケシメジの生産振興を図った。

更に、野外栽培用新品種開発については、登録品種と野生きのこの交配試験を実施し、新品種候補となる優良な交配菌株を複数得た。

4 今後の展開

引き続き、新品種開発に向けた試験研究を実施するとともに、併せて簡易施設栽培技術の改良開発・普及を進めることで、生産地域及び生産量の増大を図る。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：木くずの再資源化) ※きのこ菌床使用分

単位：m³

平成30年度	令和元年度	令和2年度
197.8	208.9	

※ 令和2年度数値については未公表のため、令和元年度数値を記載。(R3.8月公表予定)

6 事業費の推移

単位：千円

令和2年度
3,337